

屁ひり嫁

我謝ツル (1901・M34) 字渡具知 (01:55)

あぬーくぬ^{あなぐ ぐわ}女^{ひーひ}ん子^{をうとうむ}ぬよ、なーいっペー^{くんど}屁^{をうとうむ}放^{あーるー}やー
やたんでい。あんさーなかい、今^{くんど}度^{をうとうむ}おうりが 夫^{あーるー} 持^い
っち^い行^{くとう}ち^{あーるー}ゆる 事^{あーるー} なた^{あーるー}いさ^{あーるー}ぐ^{あーるー}とう。「踵^{あーるー} どーやー、
ハールー」んでい、男^{あきか} ぬ^{うや}親^いぬ^い言^いみ^いそー^いち^いや^いぐ^いとう。
また^{あきか}う^{うや}ぬ^いハールー^いん^いり^いる^い人^いお、「覚^{あきか} とーん^{あきか}たい^{あきか}ター
リー」ん^{あきか}た^{あきか}んでい。

あんし、行^{うん}ぢ^{をうとうむ}ャー^{うん}に、夫^{うん} 持^{うん}っ^{うん}ち^{うん}行^{うん}ぢ^{うん}ャー^{うん}な^{うん}かい、
其^{うんま}処^{やー}ぬ^{やー}家^{やー}ん^{やー}じ^{やー}え^{やー}ー^{やー}な^{やー}、い^{やー}っ^{やー}ペ^{やー}ー^{やー}黒^{くろ}し^{くろ}び^{くろ}瘦^{よー}がり^{よー}し、
瘦^{よー}がり^{よー}た^{よー}ぐ^{よー}とう。「い^{やー}や^{やー}な^{やー}、あ^んし^ん 病^{やんめー} ぬ^め
る^ぬ有^ある^あい、あ^んし^ん 黒^{くろ}し^{くろ}び^{くろ}瘦^{よー}がり^{よー}そ^いー^いる^い」ん^いり^い言^いち^いや^いれ^い
ー、う^しぬ^し 姑^い ぬ^いあ^いん^い言^いみ^いそ^いー^いち^いや^いぐ^いとう。「私^{わん}ね^{わん}ー^{わん}な
ー 病^{やんめー} ん^{ねー}ち^{ねー}ん^{ねー}無^{わん}び^{わん}らん^{わん}し^{わん}が、私^{わん}ね^{わん}ー^{わん}屁^{わん}に^{わん}に^{わん}じ^{わん}て^{わん}い^{わん}
る^{わん}あ^んし^ん 瘦^{よー}がり^{よー}と^{よー}ー^{よー}び^{よー}ん^{よー}ど^{よー}ー^{よー}や^{よー}ー^{よー}」ん^いり^い言^いち^いや^いく^いとう。
「ち^{ねー}ャ^ひー^ひん^ひ無^ひん^ひさ、放^ひり^ひ 飛^ひば^ひし^ひえ^ひー^ひ」ん^ひち^ひや^ひぐ^ひとう、
な^しー^し直^しぐ^し親^しん^し放^しり^し捨^して^しい^して^しい、夫^{をうとう} ン^ひ放^ひり^ひ捨^ひて^ひい^ひ
て^ひい^ひさ^ひー^ひな^ひか^ひに。

「あ^とー^とく^とれ^とー^と妻^{ゆみ} え^{ゆみ}なら^{ゆみ}ん^{ゆみ}ぐ^{ゆみ}とう、な^{ゆみ}ー^{ゆみ}嫁^{ゆみ}ん^{ゆみ}なら^{ゆみ}
ん^{ゆみ}ぐ^{ゆみ}と^{ゆみ}う^{ゆみ}添^{ゆみ}て^{ゆみ}い^{ゆみ}行^{ゆみ}き^{ゆみ}」ん^{ゆみ}ち^{ゆみ}、行^{ゆみ}ち^{ゆみ}ゆる^{ゆみ}途^{ゆみ}中^{ゆみ}な^{ゆみ}か^{ゆみ}に、今^{ゆみ}度^{ゆみ}
お^{ゆみ}あ^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}一^{ゆみ}道^{ゆみ}中^{ゆみ}を^{ゆみ}う^{ゆみ}と^{ゆみ}ー^{ゆみ}て^{ゆみ}い、木^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}生^{ゆみ}い^{ゆみ}物^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}な^{ゆみ}と^{ゆみ}ー^{ゆみ}し、
う^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}生^{ゆみ}い^{ゆみ}物^{ゆみ}む^{ゆみ}い^{ゆみ}る^{ゆみ}為^{ゆみ}な^{ゆみ}か^{ゆみ}に、な^{ゆみ}ー^{ゆみ}大^{ゆみ}変^{ゆみ}う^{ゆみ}ふ^{ゆみ}ー^{ゆみ}し^{ゆみ} 皆^{ゆみ}
な^{ゆみ}ー、ち^{ゆみ}ャ^{ゆみ}ー^{ゆみ}し^{ゆみ}ん^{ゆみ}う^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}生^{ゆみ}い^{ゆみ}や、む^{ゆみ}り^{ゆみ}わ^{ゆみ}る^{ゆみ}や^{ゆみ}し^{ゆみ}が^{ゆみ}ん^{ゆみ}り^{ゆみ}言^{ゆみ}
ち^{ゆみ}そ^{ゆみ}ー^{ゆみ}い^{ゆみ}ね^{ゆみ}ー。今^{ゆみ}度^{ゆみ}お^{ゆみ} 夫^{ゆみ} 婦^{ゆみ} 家^{ゆみ}か^{ゆみ}い^{ゆみ}添^{ゆみ}て^{ゆみ}い^{ゆみ}行^{ゆみ}ち^{ゆみ}ゆ^{ゆみ}し^{ゆみ}
は^{ゆみ}っ^{ゆみ}ち^{ゆみ}ャ^{ゆみ}か^{ゆみ}た^{ゆみ}ぐ^{ゆみ}とう、「あ^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}ー^{ゆみ}何^{ゆみ}が^{ゆみ}何^{ゆみ}ん^{ゆみ}ち^{ゆみ}が^{ゆみ}」ん^{ゆみ}ち^{ゆみ}
ャ^{ゆみ}ぐ^{ゆみ}とう、「い^{ゆみ}え^{ゆみ}ー^{ゆみ}あ^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}生^{ゆみ}い^{ゆみ}物^{ゆみ}落^{ゆみ}と^{ゆみ}う^{ゆみ}す^{ゆみ}ん^{ゆみ}ち^{ゆみ}や^{ゆみ}し^{ゆみ}が^{ゆみ}
や^{ゆみ}ー、誰^{ゆみ}が^{ゆみ}ん^{ゆみ}な^{ゆみ}ー^{ゆみ}む^{ゆみ}い^{ゆみ}う^{ゆみ}ー^{ゆみ}さん^{ゆみ}。登^{ゆみ}て^{ゆみ}い^{ゆみ}ん^{ゆみ}登^{ゆみ}ら^{ゆみ}らん、
あ^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}う^{ゆみ}り^{ゆみ}る^{ゆみ}や^{ゆみ}ん^{ゆみ}ど^{ゆみ}ー^{ゆみ}や^{ゆみ}ー」で^{ゆみ}い^{ゆみ}言^{ゆみ}ち^{ゆみ}さ^{ゆみ}ぐ^{ゆみ}とう。「あ^{ゆみ}ん^{ゆみ}
し^{ゆみ}え^{ゆみ}ー^{ゆみ}私^{ゆみ}落^{ゆみ}と^{ゆみ}う^{ゆみ}ち^{ゆみ}ん^{ゆみ}ー^{ゆみ}じ^{ゆみ}ゆ^{ゆみ}み^{ゆみ}」ん^{ゆみ}ち^{ゆみ}、う^{ゆみ}ぬ^{ゆみ} 女^{ゆみ} ぬ^{ゆみ}言^{ゆみ}
ち^{ゆみ}ャ^{ゆみ}く^{ゆみ}とう、ハールー^{ゆみ}が。

今^{ゆみ}度^{ゆみ}お^{ゆみ}う^{ゆみ}り^{ゆみ}が^{ゆみ} 屁^{ゆみ} 放^{ゆみ}や^{ゆみ}ー^{ゆみ}な^{ゆみ}かい、う^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}生^{ゆみ}い^{ゆみ}物^{ゆみ}全^{ゆみ}部^{ゆみ}
放^{ゆみ}り^{ゆみ}落^{ゆみ}と^{ゆみ}う^{ゆみ}ち^{ゆみ}さ^{ゆみ}ー^{ゆみ}な^{ゆみ}か^{ゆみ}に^{ゆみ}や^{ゆみ}ー、「と^{ゆみ}ー^{ゆみ}く^{ゆみ}れ^{ゆみ}ー^{ゆみ}宝^{ゆみ} 物^{ゆみ} 物^{ゆみ}
ぐ^{ゆみ}と^{ゆみ}う^{ゆみ}」ん^{ゆみ}で^{ゆみ}い^{ゆみ}や^{ゆみ}ー^{ゆみ}に、「宝^{ゆみ} ぬ^{ゆみ} 女^{ゆみ} や^{ゆみ}ぐ^{ゆみ}と^{ゆみ}う^{ゆみ}」ん^{ゆみ}ち、
今^{ゆみ}度^{ゆみ}お^{ゆみ} 家^{ゆみ}ん^{ゆみ}か^{ゆみ}い^{ゆみ}ま^{ゆみ}た^{ゆみ}引^{ゆみ}ち^{ゆみ}戻^{ゆみ}ち、親^{ゆみ}ぬ^{ゆみ}家^{ゆみ}ね^{ゆみ}ー^{ゆみ}帰^{ゆみ}さん^{ゆみ}よ^{ゆみ}
ー^{ゆみ}い^{ゆみ}家^{ゆみ}ん^{ゆみ}か^{ゆみ}い^{ゆみ}引^{ゆみ}ち^{ゆみ}戻^{ゆみ}ち^{ゆみ}っ^{ゆみ}来^{ゆみ}い^{ゆみ} 妻^{ゆみ} え^{ゆみ}さん^{ゆみ}り。

【共通語訳】

あのう、その娘はね、もう大変な屁こきだったそう
だ。その娘が嫁ぐことになり、父親は屁が出そうにな
ったら踵で尻の穴を押さえなさいと教えた。人前
では気づかれないように「踵だよ、忘れるなよハールー」
と注意したら、娘のハールーは「覚えていますよ、お
父さん」と答えただって。

そして、ハールーは嫁いで行ったものの、婚家では
もう、顔色も悪くなり痩せてきた。それで、姑が「お
前はこんなに顔色も悪く痩せているが、どこが悪い
ところでもあるの？そんなに痩せてしまって」と言
った。姑にそう聞かれたので、「私はどこも悪くはあ
りませんが、屁を我慢してこんなに痩せているので
すよ」と答えた。そしたら、「気にしないでいいよ、
思い切りしなさい」と言ったので、もう、その姑や夫
を吹き飛ばすほどの大きな屁を放ったそうだ。

さすがに「ああ、こんな女は妻にできない、嫁にも
できないから、実家へ戻しなさい」ということになっ
たそうだ。実家へ連れていく途中の道に、実をいっば
いつけた木があって、その実を取ろうと人が集まっ
ていた。どうしたらその木の実を取ることができる
か皆いろいろ苦労していたそうだね。妻の実家へ行
く途中に、そうしているところに出くわしたわけだ。
「何をしているのか」と聞いたら、「あの木の実を取
ろうとしているのだが、誰も取ることができない、木
に登っても届かず困っているのだよ」と言ってきた。
「それでは、私が木の実を落としてみようか」と、ハ
ールーが言ってね。

そして、ハールーが屁を放って、木の実を全部落
すことができたそうだ。それを見た夫は、「ああ、も
う、これは宝物だ。この女は大切にしないで」と思
って、実家へ戻すことはせずに、また家へ連れ帰って
妻にしたということだよ。